

3 民生費 1 社会福祉費 1 社会福祉総務費

② 社会福祉援護費（地域福祉課・障がい高齢福祉課）

1 第2次向日市地域福祉計画の策定及び地域福祉計画の推進（地域福祉課）

第2次向日市地域福祉計画（平成23年度～）の策定と地域福祉計画推進のため、以下の取組を行った。

(1) 地域福祉計画推進委員会の開催

福祉関係者や学識経験者ほかの委員（12人）で構成され、計画策定後どのように施策に反映されているのかの点検と、今後の計画推進方策について話し合うため、会議を開催（2月28日）した。

(2) 地域福祉計画策定委員会の開催

第2次向日市地域福祉計画を策定するため、福祉関係者や学識経験者ほかの委員（12人）で構成し、向日市における福祉の現状と計画の整合性を図るとともに、計画推進方策について見直しを行い計画を立案するため、会議を開催した。

開催数	4	場所	向日市福祉会館
-----	---	----	---------

(3) 地域福祉を考えるつどいの開催

第2次向日市地域福祉計画を策定するに当たり、広く市民の方の意見を聴くため、ワークショップを開催（7月3日）した。

(4) 中学校区別座談会の開催

第2次向日市地域福祉計画を策定するに当たり、広く市民の方の意見を聴くため、中学校区別のワークショップを開催した。

〈西ノ岡中学校区域〉	開催日	8月3日	場所	物集女公民館
〈寺戸中学校区域〉	開催日	8月19日	場所	寺戸公民館
〈勝山中学校区域〉	開催日	8月27日	場所	上植野公民館

(5) 地域支えあい会議（市民ワークショップ）

〈上植野南部地域〉	開催数	13	場所	上植野コミュニティセンター
-----------	-----	----	----	---------------

内 容 上植野町南部地域を計画推進に係る実践モデル地区として、地域における困りごとや福祉の課題について話し合ったほか、解決のための実践活動を行うことを目的として地域住民が参加し、交流を深めるための防災セミナーや防犯学習会を実施した。

2 地域ふれあいのまち推進事業（地域福祉基金活用事業）

健康・生きがいづくりの推進につながる事業を行っている団体に対し補助金を支出した。

(1) 地域配食(会食)活動、一人暮らし高齢者等訪問活動	8団体	700,000円
(2) ふれあいサロン活動推進事業	16団体	600,000円

3 住宅手当緊急特別措置事業

住宅を喪失した離職者又は喪失するおそれのある離職者に対し、住宅費を支給するとともに、就労支援員による就労支援等を実施した。

(1) 相談件数	29 人
(2) 申請件数	20 人
(3) 支給件数	12 人
(4) 延長件数	11 人
(5) 支給金額	5,842,200 円

4 自殺対策事業（障がい高齢福祉課）

自殺問題に対する正しい理解を促進するため、心の健康についての知識を普及啓発する事業を行った。

こころの健康づくり事業の実施

日 時 平成23年2月22日（火） 午後2時から午後4時まで

場 所 向日市民会館 第1会議室

内 容 ・講演会「こころをいきいきさせる方法！」

～ストレスと上手につきあいましょう～ 講師 安元 寛子さん

参加者 27人

③ 民生委員活動費（地域福祉課）

1 向日市民生児童委員連絡協議会（民生委員・児童委員71人、主任児童委員6人で組織。平成22年12月1日一斉改選後、民生・児童委員74人、主任児童委員6人）が行う地域福祉活動事業等に対し、補助金を交付した。

(1) 活動補助金 6,740,976 円

(2) 定例会及び研修会開催状況

定例会 4回 研修会 8回（地区民生児童委員協議会合同開催）

2 向日市民生委員推薦会

平成22年12月1日一斉改選に係る推薦会を8月6日に開催した。

・謝金 108,000円 12人×9,000円

④ 福祉団体助成費（地域福祉課）

1 福祉関係団体事業補助金 124,000 円

向日市遺族会及び向日市原爆被災者の会に対し、事業補助金を交付した。

2 戦没者遺族援護

(1) 遺族慰安会

開催日 6月10日（木） 場 所 兵庫県・神戸市方面

参加人数 39人

(2) 京都府戦没者追悼式

開催日 10月25日(月) 場所 国立京都国際会館
参加人数 15人

(3) 全国戦没者追悼式

開催日 8月15日(日) 場所 日本武道館
参加人数 2人

⑤ 社会福祉協議会費(地域福祉課)

1 暮らしの資金貸付事業

夏期及び年末に生活の不安定な世帯に対し、暮らしに必要な資金を1世帯10万円を限度として貸付を行った。(向日市社会福祉協議会に業務を委託)

	貸付受付期間	貸付件数	貸付金額
夏期	7月1日～7月14日	5件	450,000円
年末	12月1日～12月14日	11件	1,000,000円

2 社会福祉協議会運営補助金

社会福祉法人向日市社会福祉協議会の事業に対し補助金を交付した。

補助金 25,000,000円 (専任職員ほか人件費補助及び社会奉仕活動センターほか事業費補助)

⑥ 福祉医療費(医療保険課)

1 福祉医療費の支給対象

(1) 75歳未満で、後期高齢者医療の被保険者でない重度心身障がい児者(身障1級・2級、IQ35以下等)及び母子家庭児童(18歳高校卒業まで)とその母に対し、本人、配偶者及び扶養義務者の所得が基準額以下のとき、医療費の自己負担分を助成した(府補助制度)。

(2) 75歳未満で後期高齢者医療の被保険者でない身体障がい者(3級)であって、住民税非課税世帯に属する者、18歳を超えて高校に在学中の母子家庭児童及びその母並びに両親が身体障がい3級以上の高校卒業までの児童等(所得制限は府制度に準ずる。)に対し、医療費の自己負担分を助成した(市独自制度)。

		受給者数 (平均) ①	延べ 受診件数 ②	医療費 支給総額 ③	1人当たり 医療費 ③/①	1件当たり 医療費 ③/②
府補助 制度	重度心身障がい	550	13,305	89,841,846	163,349	6,752
	母子家庭	1,150	13,061	38,959,594	33,878	2,983
市独自 制度	重度障がい	30	832	5,187,019	172,901	6,234
	母子家庭	10	116	556,928	55,693	4,801
計		1,740	27,314	134,545,387	77,325	4,926

⑦ 社会福祉基金積立金費（地域福祉課）

寄附金（8件 8,905,000円）及び基金利子（9,016円）を社会福祉基金に積み立てた。

⑧ 国民健康保険事業費（医療保険課）

国保会計へ、保険基盤安定分等として、一般会計から繰り出したものである。

保険基盤安定分（保険料軽減分）	153,649,526 円
保険基盤安定分（保険者支援分）	34,673,419 円
事務費分	29,324,033 円
出産育児一時金分	16,772,520 円
財政安定化支援事業分	34,405,000 円
その他	31,175,502 円

⑨ 乙訓福祉施設事務組合費（障がい高齢福祉課）

乙訓若竹苑及び乙訓ポニーの学校並びに障害程度区分認定審査会を運営する乙訓福祉施設事務組合に係る運営費用を負担した。

⑩ 民間福祉施設運営助成費（障がい高齢福祉課）

心身障がい者援護施設を運営する社会福祉法人及び障がい者共同作業所等に対し、施設整備費や運営費を補助した。

1 民間心身障害者福祉施設運営費等補助

乙訓地域に所在する社会福祉法人に対し、利用者の処遇向上と運営の安定化を図るため補助を行った。

補助額 30,652,968 円（乙訓福祉会、向陵会、乙の国福祉会、あらぐさ福祉会）
※第2乙訓ひまわり園建設に係る向陵会への補助を含む。

2 障がい者共同作業所等運営整備補助

障がい者共同作業所等の事業の円滑化と充実を図るため補助を行った。

補助額 6,114,154 円（共同作業所やよい工房、やよい工房久貝事業所、友愛之郷、友愛印刷、ゆうとぴあ・むこう）

⑪ 地域福祉基金積立金費（地域福祉課）

基金利子（597,938円）を地域福祉基金に積み立てた。

⑫ 福祉年金費（市民課）

1 特別給付金

在日外国人高齢者特別給付金	3人	290,000円
在日外国人重度障害者特別給付金	1人	432,000円

2 向日市老人福祉年金

支給状況

(単位：円)

上期対象者	支給額	下期対象者	支給額	未支給年金対象者	支給額	合計
5人	15,000	5人	15,000	2人	6,000	36,000

3 民生費 1 社会福祉費 2 老人福祉費

① 老人ホーム入所措置費（障がい高齢福祉課）

老人福祉法に基づき、65歳以上の高齢者を必要に応じて次の施設（老人ホーム）に入所措置した。

・養護老人ホーム

環境上の理由及び経済的理由等により、居宅で生活することが困難な人が入所できる施設

新規措置人員 0人 措置廃止人員 0人

(単位：人、円)

区 分	老人福祉施設名	人 数			措置費支払額 (年額) B	一人当たり 平均月額措置費 B/A
		平成22年 4月1日	平成23年 3月31日	延べ人数 (年間月単位) A		
養護老人ホーム	洛南寮	3	3	36	5,474,394	152,067
計		3	3	36	5,474,394	152,067

② 老人福祉事業費（障がい高齢福祉課）

1 敬老事業

多年にわたり社会に尽くしてこられた高齢者の長寿を祝うとともに、明るく豊かな長寿社会の実現を目指して実施した。

(1) 敬老会の開催

平成22年9月16日（木）70歳以上の高齢者を対象に向日市民会館において開催

- ・対象者数 7,836人（うち入場者数 1,176人）
- ・催物出演者 歌謡ショー：さくま美華
大神楽・獅子舞：豊来家玉之助
漫 才：ザ・ぼんち
- ・委託料 1,499,500円

(2) 敬老記念品の贈呈

(単位：人、円)

	対象者数	贈呈者数	記念品	事業費
米 寿	151	151	羽毛肩当て	317,100
新 百 歳	6	6	額縁付肖像画、羽毛肌掛布団のどちらか1点	56,800
最 高 齢	1	1	鶴寿合わせマイヤー毛布	10,500
計	158	158		384,400

2 老人クラブの育成

老人クラブの育成を図るため、運営費の一部を補助し、クラブ活動を支援した。

(1) 活動状況

向日市老人クラブ連合会を中心に、スポーツ・レクリエーションを通して会員相互の親睦と健康づくりに努めるとともに、友愛訪問や公園の清掃などの奉仕活動を行った。

(2) クラブ数及び会員数（平成22年4月1日現在）

単位クラブ	27 クラブ
会 員 数	1,383 人

(3) 活動補助金 2,497,200円

3 生活支援事業

(1) 高齢者配食サービス事業

おおむね65歳以上で、買物や調理が困難な一人暮らしや高齢者のみの世帯等を対象に安否確認を兼ねた配食サービスを業者に委託して実施した。

世帯区分	利用者数	延べ配食数	事業費
一人暮らし	124 人	20,563 食	7,023,870 円
高齢者世帯	90 人		
その他	22 人		
合計	236 人		

(2) 生活支援型ホームヘルプサービス

介護保険の要介護認定で非該当となった高齢者や、退院直後などで一時的に支援の必要な高齢者等にホームヘルパーを派遣し、自立した生活を維持継続できるよう、(福)向日市社会福祉協議会に委託して実施した。

区分	利用者数	延べ派遣数	委託料
非 該 当	0 人	0 回	185,180 円
一 時 的 支 援	6 人	53 回	
60歳以上65歳未満	0 人	0 回	
計	6 人	53 回	

4 在宅介護支援センター

向日市地域包括支援センターと連携を図りながら、在宅介護に関する総合的かつ専門的な相談を受け、ニーズに見合った保健・医療・福祉サービスの総合的な調整、福祉サービスの申請代行、要援護高齢者等の実態把握などを行うため、(医)回生会及び(福)向陽福祉会に事業を委託して実施した。

名 称	実態把握件数	延べ相談件数
ケアセンター回生 向日市在宅介護支援センター	67 件	87 件
在宅介護支援センター 向陽苑	100 件	185 件
計	167 件	272 件

5 介護者支援金支給事業

満65歳以上の要介護「3・4・5」の高齢者を在宅で介護している家族に対し、介護者支援金（年額30,000円）を支給した。

要 介 護 状 態 区 分	支 給 件 数	事 業 費
要 介 護 3	138 件	8,940,000 円
〃 4	108 件	
〃 5	52 件	
計	298 件	

6 老人日常生活用具給付・貸与事業

おおむね65歳以上の一人暮らし高齢者等を対象に、日常生活用具の給付、福祉電話を貸与する事業を実施した。

(1) 給 付

・電磁調理器 3 台 ・助成額 39,375円

(2) 貸 与 (福祉電話)

ア 新規貸与台数 1 台

イ 平成23年3月31日現在貸与数 7 台 事業費 10,500円

7 介護予防住宅改良助成・相談事業

介護予防に配慮した住宅づくりを支援することを目的に、介護保険の認定を受けていない60歳以上の在宅高齢者の方で、前年度市民税非課税世帯の方を対象に、手すりの設置、段差の解消工事の費用の一部を助成する事業を実施した。(介護保険非該当者含む。)

・相談件数 2 件
 ・助成件数 2 件
 ・助 成 額 118,300円

8 家賃助成事業

市内の民間アパート等に居住する一人暮らしの高齢者に対し、家賃の一部を助成した。

助成対象者件数 55件 事業費 5,659,200円

9 あんしんホットライン事業

65歳以上の一人暮らしで、虚弱なため日常生活を営むのに支障のある方又は第1種身体障害者で災害時に独自避難が困難な方のお宅に、緊急時の連絡に応じるため、緊急通報装置を設置した。

(1) 端末装置の貸与・返納実績

ア 貸与件数 43件
イ 返納件数 41件
ウ 平成23年3月31日現在貸与数 334件（消防デモ機除く。）

(2) 端末装置からの通報実績

ア 通報件数 71件
イ 出動件数 35件

10 認知症地域支援体制構築等推進事業

京都府が実施する認知症総合対策事業のうち「重点地域における地域支援体制」に関する業務を受託し、認知症の人とその家族を地域で支えるために医療、福祉、介護等を行うマンパワーや拠点などの地域資源をネットワーク化して、相互に連携する支援体制を構築するため、認知症地域支援体制構築等推進事業を（福）向日市社会福祉協議会に一部業務委託して実施した。

・総事業費 1,000,000円

(1) 認知症に対する理解促進・啓発

ア 認知症サポーター養成講座の開催

・認知症サポーター養成講座開催数 21回
・平成22年度認知症サポーター養成数 694人

イ 認知症フォーラムの実施

認知症の人と家族の支援について考え、認知症になっても住み慣れた地域で安心して暮らせるまちづくりについて考えることを目的に認知症フォーラムを開催した。

開催日時 平成22年12月17日（金）
場所 向日市民会館 ホール
参加者数 284人

(2) 家族介護者支援

在宅における認知症ケアの質的向上と家族による介護等の負担軽減を図るため、家族相談会及び家族交流会を実施した。

ア 認知症家族相談会の開催

開催日時	第1回：平成22年9月14日（火）	第2回：平成22年12月10日（金）
参加家族数	第1回：6家族（7人）	第2回：6家族（11人）

イ 認知症家族交流会の開催

開催日時	平成22年10月23日（土）
参加者数	6人

(3) 地域で支える体制づくり

モデル地区（向日台地区及び森本地区）を中心に地域住民や地域団体の活動を支援することにより、認知症の人とその家族を早期発見し、地域で見守り、支え合う体制構築の推進を図った。

ア 地域資源マップ

認知症支援に関する地域資源をまとめ情報冊子を作成し、地域住民や関係機関等に配布した。

イ 地区懇談会の開催

開催日時	平成23年1月22日（土）
テーマ	「認知症について話そう！」
参加者数	向日台地区住民46人

ウ 地区診断の開催

開催日時	平成22年10月2日（土）
内容	地区周辺の社会資源や問題点について住民間で話し合い地域の現状を確認した。
参加者数	森本地区住民28人

エ 2011ダイアリーの作成・配布

認知症啓発及び医療機関との連携を図ることを目的に、乙訓認知症かかりつけ医のリストなどを掲載した2011ダイアリー（連携ツール）を作成し、認知症フォーラム会場などで地域住民や関係機関等に配付した（作成部数：500部）。

11 介護保険利用者への利用料軽減措置事業

(1) 低所得者居宅サービス利用者負担助成事業

介護保険居宅サービス利用者の中で、特に生計が困難な方に利用者負担の2分の1を助成する事業を実施した（生活保護受給者を除く。）。

・平成22年度認定者数	28人
・延べ助成件数	112件
・助成額	1,328,700円

(2) 社会福祉法人による介護保険利用者負担軽減事業

社会福祉法人が行う介護サービス利用者負担軽減措置の対象者を認定し、社会福祉法人に対し助成金を交付した。

・助成金交付社会福祉法人	
(福) 乙の国福祉会、(福) 華頂会、(福) 向日市社会福祉協議会	
・助成費	118,592円

12 介護サービスについてのアンケート調査

(1) 第5期介護保険事業計画（平成24年度～26年度）を平成23年度に策定するにあたり、高齢者の実態把握を目的として、介護サービスについてのアンケート調査を実施した。

- ア 高齢者一般調査：要介護(要支援)認定を受けていない65歳以上の市民1,200人を無作為に抽出
- イ 在宅者調査：要介護(要支援)認定を受けていて、介護施設等に入所、入院していない市民800人を無作為に抽出
- ウ 施設サービス利用者調査：平成22年11月1日現在、介護施設等に入所、入院されている市民200人
- エ 介護支援専門員調査：市内事業所に勤務する介護支援専門員43人

(2) 回答状況

	配布数	回収数	回収率	有効回答数	有効回答率
高齢者一般調査	1,200	888	74.1%	886	73.8%
在宅者調査	800	531	66.4%	519	64.9%
施設サービス利用者調査	200	132	66.0%	129	64.5%
介護支援専門員調査	43	43	100.0%	43	100.0%

※ 回収数は返送された調査票の数、有効回答数は集計対象とした調査票の数である。

③ 老人医療費（医療保険課）

65歳以上70歳未満の老人であって、一人暮らしの老人、老人世帯の老人及び所得税非課税世帯の老人のうち、本人、配偶者及び扶養義務者の所得が基準額以下のとき、医療費の自己負担分のうち、高齢者の医療の確保に関する法律第67条に規定する一部負担金に相当する額を控除した額を助成した。

① 受給者数 (平均)	② 受診件数	③ 医療費支給総額	④ 1人当たり医療費 ③/①	⑤ 1件当たり医療費 ③/②
674人	15,339件	49,818,091円	73,914円	3,247円

④ 老人保健医療費（医療保険課）

老人保健法第47条に基づき、老人保健事業・老人保健医療などに要する費用及び事務の執行に要する費用などを支出した。

⑤ 後期高齢者医療費（医療保険課）

後期高齢者医療の被保険者に係る療養の給付等について、高齢者の医療の確保に関する法律第98条に規定された市町村負担割合に基づく負担金を支出した。

また、同法第99条に規定された後期高齢者医療特別会計への繰出金及び後期高齢者医療の事務に要する費用を支出した。

- ・後期高齢者医療療養給付費負担金概算分（市町村負担分） 320,813,989円
- ・後期高齢者医療特別会計への繰出金 84,209,000円
- ・人間ドック健診補助 850,740円

○ 人間ドック健診補助（健康診断費用の7割補助）（医療保険課）

	男 性		女 性	
京都第一赤十字院	1人	28,670円	0人	0円
京都桂病院	11人	283,710円	4人	114,680円
済生会京都府病院	5人	147,000円	6人	190,680円
京都工場保健会	0人	0円	0人	0円
坂崎診療所	1人	27,930円	2人	58,070円
大和健診センター	0人	0円	0人	0円
計	18人	487,310円	12人	363,430円

⑥ シルバー人材センター費（障がい高齢福祉課）

60歳以上の高齢者に臨時的・短期的な仕事を提供し、生きがいを高め、社会参加を促進するため、向日市シルバー人材センターへの運営助成を行った。

(1) 運営補助金 6,355,000円

(2) 会員数

男	女	計
299 人	91 人	390 人

(平成23年3月31日現在)

⑦ 老人福祉施設助成費（障がい高齢福祉課）

本市に建設された特別養護老人ホーム向陽苑に対し建設借入金元利金を、社会福祉法人長岡京せいしん会第二天神の杜に対し整備費を助成した。

⑧ 介護保険事業特別会計繰出金（障がい高齢福祉課）

介護保険法に基づき介護保険事業特別会計を設け、その円滑な運営を図るための事務費並びに保険給付費負担分及び制度の円滑な運営を図るための事業費を支出した。

⑨ 重度心身障がい老人健康管理助成事業費（医療保険課）

1 支給対象者

- (1) 後期高齢者医療の支給を受けることができる者で、重度心身障がい老人（身障1級、2級、I Q35以下）に対し、本人、配偶者及び扶養義務者の所得が基準額以下のとき、医療費の一部負担金を支給した。
(府補助制度)

受給者数 (平均)	支給件数	支給額
358 人	9,786 件	39,316,963 円

- (2) 後期高齢者医療の支給を受けることができる者で、住民税非課税世帯に属する身体障がい者（3級）に対し、医療費の一部負担金を支給した。（市独自制度）

受給者数 (平均)	支給件数	支給額
87 人	2,407 件	6,503,435 円

⑩ 介護基盤緊急整備特別対策事業費（障がい高齢福祉課）

本市物集女町に建設された地域密着型サービス事業所（ケアホームすいとハンズ物集女）に対し、介護基盤緊急整備特別対策事業補助金及び施設開設準備経費助成特別事業補助金を交付した。

3 民生費 1 社会福祉費 3 老人福祉センター費

老人福祉センターは、60歳以上の市民が、生涯現役で楽しく学び、交流し、社会参加などの活動により、生きがいや健康づくりができる場として、「桜の径」と「琴の橋」の2施設を設置している。

老人福祉センター桜の径は「くつろぎといこいの施設」として、入浴設備や健康器具（ヘルストロン）を備えるとともに、隣接地に運動広場と菜園を設け、建物は平屋建て、敷地面積は広く、中庭・坪庭のある静かで落ち着いたたたずまいの施設である。

老人福祉センター琴の橋は「ふれあいと創造の施設」として、陶芸・工芸・工作のできる創作工房室や多目的に利用できる大広間などを設置し、生涯学習や世代間交流など多人数の利用をも配慮した施設である。両センターのそれぞれの特徴と機能を生かし、運営を図っている。

② 老人福祉センター桜の径運営費（老人福祉センター桜の径）

1 利用状況

(1) 来所者数は、開館日数292日、延べ39,498人(男20,186人・女19,312人)で、1日平均135.3人である。

(2) 行政区別及び性別利用者数

(単位：人、%)

	男		女		計	
	利用者数	構成比	利用者数	構成比	利用者数	構成比
物集女町	227	5.5	199	4.0	426	4.7
寺戸町	1,362	32.9	996	20.1	2,358	25.9
森本町	266	6.4	374	7.5	640	7.0
鶏冠井町	799	19.3	1,190	24.0	1,989	21.9
上植野町	1,071	25.9	1,699	34.3	2,770	30.5
向日町	182	4.4	162	3.3	344	3.8
西向日	94	2.3	265	5.4	359	3.9
向日台	135	3.3	71	1.4	206	2.3
計	4,136	100.0	4,956	100.0	9,092	100.0

注 月初めの月曜日から土曜日までの6日間、年間72日間の集計である。

(3) 年齢別及び性別利用者数

(単位：人、%)

	男		女		計	
	利用者数	構成比	利用者数	構成比	利用者数	構成比
60～64歳	227	5.5	377	7.6	604	6.6
65～69歳	984	23.8	984	19.8	1,968	21.6
70～74歳	1,110	26.8	1,049	21.2	2,159	23.7
75～79歳	1,159	28.0	1,103	22.3	2,262	24.9
80～84歳	555	13.4	786	15.9	1,341	14.8
85～89歳	97	2.4	528	10.6	625	6.9
90歳以上	4	0.1	129	2.6	133	1.5
計	4,136	100.0	4,956	100.0	9,092	100.0

注 月初めの月曜日から土曜日までの6日間、年間72日間の集計である。

(4) 西向日運動広場利用状況

	利用者数 (人)	利用回数 (回)	1回平均 利用者数(人)
ソフトボール	508	78	6.5
ソフトテニス	2,389	217	11.0
古老賀寿会	384	62	6.2
鶏冠井寿クラブ	707	113	6.3
ゲートボール連合会初心者教室	48	19	2.5
運動の集い	90	1	90.0
計	4,126	490	8.4

(5) 浴室利用状況

ア 入浴日及び時間

休館日及び毎週土曜日を除く午前11時から午後3時まで

イ 入浴日数及び利用者数

入浴日数 240 日

入浴者延べ数 11,291 人 (男6,227人、女5,064人)

1日平均入浴者数 47.0 人 (男 25.9人、女 21.1人)

(6) 健康器具 (交流高圧電界保健装置) 利用状況

ア 利用日及び時間

開館日の午前9時から午後4時まで

イ 利用日数

292 日

利用者延べ数 15,087 人

1日平均利用者数 51.7 人

2 事業及びサークル・同好会活動等

(1) 行 事

ア 4月6日 「野点の会」

イ 5月26日 「サークル・同好会発表会及び作品展」

5月27日 「サークル・同好会作品展」

ウ 9月17日 「敬老の会」 午前 《昔なつかしの歌を》

愛唱サークルのみなさん

《健康を保つ民謡踊り》

踊り・ワッショイのみなさん

午後 《カラオケ教室で楽しく歌唱力アップ》

日本作曲家協会会員 東出敬三音楽事務所

エ 10月5日 「運動の集い」

オ 12月22日 「年忘れ演芸大会」

カ 1月12日 「新年会」 《新春の寿舞い》 芳匠流家元 (芳匠秀明一門)

《創作新舞踊》 辰馬流真澄会の皆さん

(2) 桜の径講座

開催日 6月29日・9月29日・12月3日・3月30日の4回
内 容 高齢者交通安全教室
指 導 者 向日町警察署交通巡視員

(3) 健康づくり講座

ア さわやか体操

(介護保険事業特別会計 3地域支援事業費 1介護予防事業費 2介護予防一般高齢者施策事業費①一般高齢者施策事業費に掲載)

イ 男性の太極拳・気功講座

目 的 加齢とともに衰える筋力の低下を防ぎ、QOLの向上を目的に実施した。
実施回数 月4回 (年間46回)
参 加 者 参加者延べ数478人 1回平均参加者数10.4人

(4) 世代間交流事業

サークル・同好会との交流

1月18日～19日 向陽小学校6年生5名(わくわく体験活動)

(5) サークル及び同好会活動

老人福祉センター利用者が、サークルや同好会を作り自主的に活動している。

年間の活動回数は、次のとおりである。なお、サークルは指導者を有し、同好会は会員相互の活動である。

サークル活動

サークル名	会員数	活動回数	サークル名	会員数	活動回数
書 道	9人	18回	大 正 琴	8人	44回
茶 道(裏)	9人	31回	俳句櫻の苑	12人	22回
園 芸	44人	10回	短 歌	7人	5回
愛 唱	14人	22回	囲 碁 教室	21人	100回
民 謡	16人	60回	折 り 紙	29人	12回
華 道	16人	19回	シネマクラノミチ	15人	9回
銀 塩 写 真	6人	12回	手 芸	9人	58回
桜 寿 会	7人	59回	絵 画	12人	37回
華 体 操	39人	26回	合 計	273人	544回

同好会活動

同好会名	会員数	活動回数	同好会名	会員数	活動回数
ビリヤード	26人	281回	囲 碁	35人	288回
将 棋	31人	288回	ナ ツ メ ロ	38人	48回
卓 球	31人	296回	カ ラ オ ケ	37人	50回
ソフトボール	16人	72回	健 保 会	23人	58回
ソフトテニス	39人	222回	ワ ッ シ ョ イ	8人	20回
ひばりの子	27人	13回	謡 曲	7人	31回
古老賀寿会	15人	78回	マ ハ ロ フ ラ	19人	5回
ソーイング	10人	14回	バ ン ブ ー	13人	23回
シングソングス	7人	19回	合 計	382人	1,806回

3 血圧測定

実施回数 36回 午後1時30分～午後3時
 測定者数 測定者延べ数 681人（男214人、女467人）、1回の平均測定者数 18.9人
 担当者 老人福祉センター看護師

③ 老人福祉センター琴の橋運営費（老人福祉センター琴の橋）

1 利用状況

(1) 来所者数は、開館日数292日、延べ25,781人（男11,784人・女13,997人）で、1日平均88.3人である。

(2) 行政区及び性別利用者数 (単位：人、%)

	男		女		計	
	利用者数	構成比	利用者数	構成比	利用者数	構成比
物集女町	1,249	10.6	2,713	19.4	3,962	15.4
寺戸町	8,712	73.9	9,429	67.4	18,141	70.4
森本町	1,067	9.1	656	4.7	1,723	6.7
鶏冠井町	324	2.7	313	2.2	637	2.5
上植野町	385	3.3	532	3.8	917	3.5
向日町	43	0.4	189	1.3	232	0.9
向日台	4	0.0	165	1.2	169	0.6
計	11,784	100.0	13,997	100.0	25,781	100.0

(3) 年齢別及び性別利用者数 (単位：人、%)

	男		女		計	
	利用者数	構成比	利用者数	構成比	利用者数	構成比
60～64歳	518	4.4	1,152	8.2	1,670	6.5
65～69歳	2,213	18.8	4,223	30.2	6,436	24.9
70～74歳	3,467	29.4	4,748	33.9	8,215	31.9
75～79歳	4,188	35.5	2,571	18.4	6,759	26.2
80～84歳	1,047	8.9	914	6.5	1,961	7.6
85～89歳	351	3.0	367	2.6	718	2.8
90歳以上	0	—	22	0.2	22	0.1
計	11,784	100.0	13,997	100.0	25,781	100.0

2 事業及びサークル活動等

(1) ～人と人とのかけ橋・ふれあいフェスティバル2010～

開催日 平成22年6月23日（水）～25日（金）
 内容 23日（水） 4年生のエコ学習講座 生ゴミが大変身！！
 講師 佐野國男さん・米津惟さん（向日市エコ地域推進会議委員）
 24日（木） 心と身体にやさしいフィットネスダンス2010
 講師 高木 睦江さん（フィットネスダンスインストラクター）
 25日（金） 料理講座 「初夏のさわやかおやつ 楽しく作っておいしく食べよう」
 講師 向日市食生活改善推進員

(2) 琴の橋サークル発表会

- ア 開催日 平成22年10月21日（木）
 内 容 サークル作品展・大会（卓球大会、囲碁／将棋大会、お茶席）
 模擬店 うどんやさん（男の料理サークル）
- イ 開催日 平成22年10月22日（金）
 内 容 サークル舞台発表会・作品展
 模擬店 うどんやさん（男の料理サークル）

(3) 琴の橋講座

- 開催日 平成23年2月25日（金）
 内 容 料理講座 ～バランスよく食べて元気に過ごそう。低栄養に気をつけて～
 講師 向日市食生活改善推進員

(4) 世代間交流事業

- ア ふれあい交流給食 3回（第4向陽小学校1年生・2年生・6年生）
 イ 陶芸交流 6回（" 5年生）
 ウ 1年生との昔遊び交流 1回（" 1年生）
 エ よってこまつり・遊びの広場に参加 1回（" の児童・育友会）
 オ 茶道交流 2回（" 6年生）
 カ 料理交流 2回（" 2年生）
 キ 万華鏡づくり 1回（" 3年生）
 ク 折り紙交流 3回（" 1年生・2年生・4年生）
 ケ サークル発表会に児童がコーラスで参加 1回（" 3年生）
 コ サークル発表会に児童の作品を展示 1回（" 全学年）
 サ サークル発表会 茶道 お茶をいっふくコーナーに参加
 シ 小学校の体育大会・向日市ふるさと音頭の踊りに参加

(5) サークル活動

サークル名	会員数	活動回数	サークル名	会員数	活動回数
卓球	69人	168回	ハーモニカ	13人	34回
男の料理教室	21人	21回	木曜陶芸	24人	88回
太極拳・気功	53人	45回	健康体操	53人	45回
そよかぜダンス	20人	46回	サロンピーチク	19人	11回
カメラサークル	11人	10回	詩吟	12人	23回
茶道	14人	51回	パソコン	44人	72回
習字	21人	33回	川柳	8人	11回
着付	11人	17回	俳句竹の会	14人	11回
生花	18人	18回	将棋	31人	135回
囲碁	22人	135回	陶芸月曜	23人	90回
くれたけ民踊	9人	40回	チェリーフラクラブ	32人	36回
俳句竹クラブ	9人	12回	ふれあい花サークル	8人	14回
クロリテイ	31人	46回	もの作り	9人	42回
ソーシャルダンス	21人	46回	趣味サークル	26人	23回
ぬり絵	11人	21回	折り紙	20人	9回
向日奇術研究会	17人	26回	吟友クラブ	7人	25回
アイリス（絵画）	26人	46回	ヨーガ	8人	9回
合 計			34サークル	735人	1,459回

3 民生費 1 社会福祉費 4 障がい福祉費

① 障がい者自立支援給付費（障がい高齢福祉課）

1 自立支援医療

(1) 自立支援医療（更生医療）の給付

身体の障がいがある部分に医療を加えることにより、その障がいを除去又は軽減し、日常生活や職業生活に適応するように医療費の一部を給付した。

給付決定件数 189 件 延べ給付件数 2,322 件
給付額 49,794,747 円（うち障がい福祉サービス利用支援事業費の額 8,320,255円）

(2) 自立支援医療（特別対策事業）の給付

在宅酸素療法を受けている呼吸器機能障害 3 級所持者及びストマ周辺の感染防止治療等を受けているぼうこう・直腸機能障害 3 級所持者に対し、当該医療に係る医療費の一部を給付した。

給付決定件数 5 件 延べ給付件数 50 件
給付額 300,620 円

(3) 自立支援医療（精神通院）

精神の疾患により、定期的に通院治療が必要な者に対し、その治療に必要な費用を公費で負担する自立支援医療に必要な申請の受付等を行い、京都府へ進達した。

適用者数 754 人

2 補装具費の支給

身体障がい児者の障がいがある部分の機能を補って、日常生活を容易にする補装具の購入・修理費用の一部を支給した。

補装具の購入・修理件数

種 目	購 入	修 理	合 計
義 肢	4 件	1 件	5 件
装 具	14	15	29
座 位 保 持 装 置	5	10	15
盲 人 安 全 つ え	10	0	10
義 眼	3	0	3
眼 鏡	8	3	11
補 聴 器	15	33	48
車 い す	16	30	46
電 動 車 い す	3	10	13
歩 行 補 助 つ え	5	0	5
歩 行 器	1	0	1
座 位 保 持 い す	2	0	2
計	86	102	188
公 費 負 担 額	11,094,296 円	2,291,693 円	13,385,989 円
公費負担額のうち障害福祉サービス 利用支援事業費による公費負担額	140,986 円	845 円	141,831 円

3 介護給付・訓練等給付等の給付（激変緩和加算費含む。）

(1) 訪問系サービス

ア 居宅介護 公費支出額 89,782,339 円

区分	身体介護	家事援助	通院介助
実利用者数	73人	19人	13人
利用時間数	15,774.0 時間	3,480 時間	726 時間

イ 重度訪問介護 公費支出額 30,775,197 円

実利用者数 7 人 利用時間数 14,971 時間

ウ 行動援護 公費支出額 20,239,011 円

実利用者数 23 人 利用時間数 6,492.0 時間

(2) 日中活動系サービス

ア 生活介護（特別対策費を含む）

（単位：人、円）

施設名	人 数			公費支出額 (年額) B	1人当たり 平均月額 支出額 B/A
	H22.3.1	H23.2.28	延べ人数 (年間) A		
光道園ライトワークセンター※	1	0	7	753,453	107,636
光道園ライフトレーニングセンター	1	1	12	3,446,390	287,199
家族応援団めだかの学校	1	1	11	3,613,820	328,529
天ヶ瀬寮※	1	0	3	682,944	227,648
天ヶ瀬学園※	1	1	12	3,272,409	272,701
あんざデイセンター	1	1	12	2,011,160	167,597
丹波桜梅園※	2	2	24	4,054,280	168,928
みずのき※	1	1	12	2,032,790	169,399
福知山学園第二翠光園※	3	3	36	10,540,184	292,783
福知山学園第三翠光園※	2	2	24	5,247,670	218,653
青谷学園※	1	1	12	3,056,480	254,707
南山城学園（和）※	1	1	12	3,291,600	274,300
南山城学園（円）※	3	2	27	7,372,350	273,050
南山城学園（凜）※	1	1	12	2,099,520	174,960
南山城学園（魁）※	1	1	12	2,557,500	213,125
乙訓の里	5	5	60	16,862,488	281,041
障害者福祉センターあらぐさ	15	15	180	45,698,763	253,882
乙訓若竹苑	2	2	24	6,456,545	269,023
晨光苑※	5	5	60	18,042,639	300,711
乙訓楽苑	16	16	192	36,913,700	192,259
乙訓ひまわり園	24	24	296	64,464,588	217,786
第2乙訓ひまわり園	0	3	21	5,407,068	257,479
京都太陽の園※	1	1	12	3,070,263	255,855
るりけい寮※	3	3	36	7,131,343	198,093
八木寮※	1	1	12	3,063,260	255,272
こひつじの苑※	1	1	12	3,800,970	316,748
くりのみ園※	1	1	1	2,450,590	2,450,590
合計	92	93	1,114	267,394,767	240,031

※「(3) 居住系サービス」における「ウ 施設入所支援」との併給

イ 自立訓練（機能訓練）

（単位：人、円）

施設名	人 数			公費支出額 （年額） B	1人当たり平均 月額支出額 B/A
	H22. 3. 1	H23. 2. 28	延べ人数 （年間） A		
鳥 居 寮	0	2	12	959,300	79,942

ウ 自立訓練（生活訓練）

（単位：人、円）

施設名	人 数			公費支出額 （年額） B	1人当たり平均 月額支出額 B/A
	H22. 3. 1	H23. 2. 28	延べ人数 （年間） A		
障害者支援施設あんびしゃ ※	1	0	7	2,011,480	287,354

※「（3）居住系サービス」における「ウ 施設入所支援」との併給

エ 就労移行支援

（単位：人、円）

施設名	人 数			公費支出額 （年額） B	1人当たり平均 月額支出額 B/A
	H22. 3. 1	H23. 2. 28	延べ人数 （年間） A		
ユニバース 鴨川	1	0	2	342,615	171,308
ユニバース 大津京	0	0	2	218,719	109,360
ピースフルリンク	0	1	11	1,809,752	164,523
ワークネット 京都	0	0	7	1,081,715	154,531
乙訓 若竹苑	1	0	1	182,350	182,350
合 計	2	1	23	3,635,151	158,050

オ 就労継続支援（A型）

（単位：人、円）

施設名	人 数			公費支出額 （年額） B	1人当たり平均 月額支出額 B/A
	H22. 3. 1	H23. 2. 28	延べ人数 （年間） A		
太陽の家 京都工場	2	1	23	1,578,256	68,620
ジョブサポートセンター R I N E N	2	3	29	3,641,156	125,557
合 計	4	4	52	5,219,412	194,177

カ 就労継続支援（B型）（特別対策費を含む。）（単位：人、円）

施設名	人 数			公費支出額 (年額) B	1人当たり平均 月額支出額 B/A
	H22. 3. 1	H23. 2. 28	延べ人数 (年間) A		
ユニバース大津京	0	0	5	469,534	93,907
ジョブサポートセンターRINEN	5	5	115	8,453,987	73,513
ジョイント・ほっと	1	1	12	854,454	71,205
障害福祉センターあらぐさ	2	2	24	2,925,857	121,911
乙訓若竹苑	9	9	111	13,801,078	124,334
やよい工房久貝事業所	2	3	26	2,490,374	95,784
友愛印刷	10	10	126	14,767,328	117,201
乙訓ひまわり園	5	6	71	8,399,472	118,302
西山高原工作所	1	1	12	798,011	66,501
ワークハウスせいらん	1	1	12	1,526,030	127,169
京都ライトハウスFSトモニー	1	1	12	775,325	64,610
ノンラベル	1	1	11	1,247,813	113,438
ピースフルリンク	1	0	1	141,934	141,934
アトリエとも	1	1	12	220,387	18,366
あんびしや	0	1	5	1,630,440	326,088
ライトホープ長岡京	0	1	1	115,734	115,734
リ・プラン西京	0	1	3	18,200	6,067
合計	40	44	554	58,635,958	105,841

キ 療養介護（療養介護医療費を含む）（単位：人、円）

施設名	人 数			公費支出額 (年額) B	1人当たり平均 月額支出額 B/A
	H22. 3. 1	H23. 2. 28	延べ人数 (年間) A		
宇多野病院	2	2	24	7,418,703	309,113

ク 児童デイサービス 公費支出額 14,159,071 円

実利用者数 111 人 利用回数 2,820 回

ケ 短期入所 公費支出額 9,941,569 円

実利用者数 46 人 利用回数 828 回

(3) 居住系サービス

ア 共同生活援助（グループホーム）（単位：人、円）

施設名	人 数			公費支出額 (年額) B	1人当たり平均 月額支出額 B/A
	H22. 3. 1	H23. 2. 28	延べ人数 (年間) A		
メゾン・ソレイユ	2	2	24	1,890,727	78,780
青谷学園（グループホーム）	1	0	6	260,090	43,348
合計	3	2	30	2,150,817	71,694

イ 共同生活介護（ケアホーム）（特別対策費を含む。）

（単位：人、円）

施設名	人 数			公費支出額 (年額) B	1人当たり平均 月額支出額 B/A
	H22. 3. 1	H23. 2. 28	延べ人数 (年間) A		
ジ ョ イ フ ル 東 ノ 口	3	3	36	3,625,187	100,700
ジ ョ イ フ ル 山 ノ 下	4	3	37	3,671,432	99,228
ハ イ ツ ま ん て ん	1	1	12	1,392,560	116,047
ハ イ ツ さ く ら	2	2	24	2,505,347	104,389
あ つ と ホ ー ム	7	6	81	7,496,594	92,551
京 都 マ ッ ク ・ に こ に こ ハ ウ ス	1	0	8	788,153	98,519
ユ ニ テ ィ 芦 原	1	1	12	1,150,340	95,862
農 夫 の 家	1	1	12	1,106,650	92,221
ピアハウス・H I S H I K A W A	0	2	18	3,140,282	174,460
ウ エ ス ト サ イ ド	0	1	1	185,542	185,542
合 計	20	20	241	25,062,087	103,992

ウ 施設入所支援（特定障害者特別給付費を含む。）

（単位：人、円）

施設名	人 数			公費支出額 (年額) B	1人当たり平均 月額支出額 B/A
	H22. 3. 1	H23. 2. 28	延べ人数 (年間) A		
光道園ライトワークセンター ※1	1	1	12	621,069	51,756
光道園ライフトレーニング セ ン タ ー ※1	1	1	12	1,313,888	109,491
天 ケ 瀬 寮 ※1	1	0	7	517,746	73,964
天 ケ 瀬 学 園 ※1	1	1	12	1,512,026	126,002
丹 波 桜 梅 園 ※1	2	2	24	3,218,774	134,116
み ず の き ※1	1	1	12	1,009,275	84,106
青 谷 学 園 ※1	1	1	12	1,210,840	100,903
南 山 城 学 園 (和) ※1	1	1	12	1,533,940	127,828
南 山 城 学 園 (円) ※1	3	2	28	3,537,434	126,337
南 山 城 学 園 (凜) ※1	1	1	12	1,614,166	134,514
南 山 城 学 園 (魁) ※1	1	1	12	1,361,915	113,493
福 知 山 学 園 第 二 翠 光 園 ※1	3	3	36	4,204,387	116,789
福 知 山 学 園 第 三 翠 光 園 ※1	2	2	24	2,496,050	104,002
晨 光 苑 ※1	5	5	60	8,001,793	133,363
京 都 太 陽 の 園 ※1	1	1	12	1,266,929	105,577
る り け い 寮 ※1	3	3	36	3,324,386	92,344
八 木 寮 ※1	1	1	12	1,466,640	122,220
こ ひ つ じ の 苑 ※1	1	1	12	1,562,061	130,172
く り の み 園 ※1	1	1	12	1,248,417	104,035
合 計	22	21	256	41,021,736	160,241

※1：「（2）日中活動系サービス」における「ア 生活介護」との併給

(4) 旧法施設訓練等支援費

ア 旧身体障害者入所更生施設支援 (特定障害者特別給付費を含む。) (単位:人、円)

施設名	人 数			公費支出額 (年額) B	1人当たり平均 月額支出額 B/A
	H22.3.1	H23.2.28	延べ人数 (年間) A		
京都市聴覚言語障害センター	1	1	12	3,242,217	270,185
合 計	1	1	12	3,242,217	270,185

イ 旧身体障害者通所授産施設支援 (特別対策費を含む。) (単位:人、円)

施設名	人 数			公費支出額 (年額) B	1人当たり平均 月額支出額 B/A
	H22.3.1	H23.2.28	延べ人数 (年間) A		
京都市西ノ京障害者授産所	1	1	12	2,119,809	176,651

ウ 旧知的障害者入所更生施設支援 (特定障害者特別給付費を含む。) (単位:人、円)

施設名	人 数			公費支出額 (年額) B	1人当たり平均 月額支出額 B/A
	H22.3.1	H23.2.28	延べ人数 (年間) A		
京北やまぐにの郷	1	1	12	3,111,370	259,281
大原野の杜	1	0	11	3,081,794	280,163
向陽の里	1	1	12	2,536,340	211,362
合 計	3	2	35	8,729,504	249,414

エ 旧知的障害者入所授産施設支援 (特定障害者特別給付費を含む。) (単位:人、円)

施設名	人 数			公費支出額 (年額) B	1人当たり平均 月額支出額 B/A
	H22.3.1	H23.2.28	延べ人数 (年間) A		
信愛育成苑	1	1	12	3,552,811	296,068
あおはにの家	1	1	12	2,875,178	239,598
合 計	2	2	24	6,427,989	267,833

オ 旧知的障害者通所授産施設支援 (特別対策費を含む。) (単位:人、円)

施設名	人 数			公費支出額 (年額) B	1人当たり平均 月額支出額 B/A
	H22.3.1	H23.2.28	延べ人数 (年間) A		
晩生内ワークセンター	1	1	12	1,788,090	149,008
なづな学園	1	1	12	1,591,461	132,622
京都のぞみ学園	1	1	12	1,956,202	163,017
青谷学園	1	0	3	542,070	180,690
洛西ふれあいの里授産園	0	1	1	173,738	173,738
合 計	4	4	40	6,051,561	151,289

(5) サービス利用計画作成費

支給対象実人数 4人 公費支出額 474,897円

4 障害福祉サービス利用支援事業

京都府との協調事業として、障害者自立支援法の利用者負担額の月額上限額を国基準より引き下げることなどで利用者負担の軽減を図った。

障害福祉サービス利用に係る軽減分	延べ28人	42,000円	
補装具費に係る軽減分	延べ13人	141,831円	【再掲】
自立支援医療（更生医療）に係る軽減分	延べ1,704人	8,320,255円	【再掲】
複数制度（障害福祉サービス、補装具費、自立支援医療）利用時の総合上限に係る軽減分	延べ2人	4,597円	
自立支援医療（精神通院医療、育成医療）に係る負担分		302,754円	計 8,811,437円

5 心身障害者サービス利用支援事業

心身障がい児者のサービス利用に際し、京都府の定める基準により、重度加算を行った。

短期入所事業	282回	487,100円
児童デイサービス事業	73回	210,970円

6 障害程度区分認定事務

障害者自立支援法による障害福祉サービスの利用に必要な障害程度区分認定調査を実施し、障害程度区分の認定を行った。

認定件数 64件

障害程度区分認定の状況 (単位：件)

非該当	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	計
0	2	6	11	8	12	25	64

② 障がい者生活支援事業費（障がい高齢福祉課）

1 手帳所持者数

(1) 身体障害者手帳（等級・障がい部位別）（平成23年3月31日現在） (単位：人)

等級	肢体	視覚	聴覚平衡	音声・言語 そしゃく	腎臓	心臓	呼吸器	ぼうこう 又は直腸	その他	計
1	272	63	10	4	139	325	6	0	5	824
2	303	60	75	3	1	6	1	2	0	451
3	254	19	28	11	7	113	22	7	3	464
4	387	20	48	10	2	153	21	103	1	745
5	228	21	2	0	0	0	0	0	0	251
6	107	31	91	0	0	0	0	0	0	229
計	1,551	214	254	28	149	597	50	112	9	2,964

(2) 療育手帳 (平成23年3月31日現在) (単位：人)

	A	B	合計
18歳未満	37	40	77
18歳以上	144	195	339
合計	181	235	416

※ Aとは、おおむねIQ35以下の者又はIQ50以下で身体障害者手帳3級以上の障がいがある者のうち重度と判定された者

Bとは、A以外で、おおむねIQ75以下の者

(3) 精神障害者保健福祉手帳 (平成23年3月31日現在) (単位：人)

1級	2級	3級	計
19	73	79	171

2 障害者地域生活支援事業

障害者自立支援法の施行により、地域の実情に応じた障がい者福祉施策を展開する市町村事業として障害者地域生活支援事業が位置付けされ、本市でも次のような事業を実施した。

(1) 相談支援事業

障がい者が地域で自立して暮らしていくための相談窓口となる障害者地域生活支援センターの運営を委託した。

向日市社協障がい者地域生活支援センター

乙訓ひまわり園地域生活支援センター

指定相談支援事業所・障害者地域活動支援センター「アンサンブル」

コラボねっと・京都自立支援センター

(2) 日常生活用具の給付（貸与）

重度の障がい児者が生活を営む上での不便を解消し、障がい者が自力で生活を営むことを容易にするため、用具を給付した。

市の独自施策として、17世帯にファクシミリ（福祉電話4世帯を含む。）を貸与した。

(単位：件、円)

区分	種目	件数	公費負担額
介護・訓練支援用具	特殊寝台	1	154,000
	特殊マット	4	62,492
	体位変換器	1	15,000
	移動用リフト	1	159,000
自立生活支援用具	移動・移乗支援用具	2	114,600
	聴覚障害者用屋内信号装置	1	23,100
	頭部保護帽	1	12,524
	入浴補助用具	6	215,632
	歩行補助杖（T字状又は棒状）	15	45,432
在宅療養等支援用具	ネブライザー（吸入器）	4	136,321
	電気式たん吸引器	6	316,080
	透析液加温器	1	46,350
情報・意思疎通支援用具	携帯用会話補助装置	2	188,300
	視覚障害者用ポータブルレコーダー	1	85,000
	視覚障害者用拡大読書器	2	386,700
	盲人用時計	3	34,100
	聴覚障害者用通信装置	3	66,420
	人工咽頭	1	64,982
排泄管理支援用具※	蓄便袋	666	5,583,092
	蓄尿袋	132	1,433,916
	紙おむつ	267	2,961,240
住宅改修費	居宅生活動作補助用具	1	200,000
合 計		1,121	12,304,281

※1か月分を1件として計上

(3) コミュニケーション支援事業

ア 手話通訳者等派遣事業

聴覚障がい者の家庭・社会生活におけるコミュニケーションを円滑にするため、手話通訳者及び登録手話通訳者を派遣した。

手話通訳者派遣総数 732 人（手話通訳依頼件数：庁内122件 庁外520件）

うち登録手話通訳者派遣件数 150 件 290,310 円

イ 要約筆記者派遣事業

中途失聴者、難聴者に対し、会議等における会話を的確に要約し、通訳する要約筆記者を派遣した。

要約筆記者派遣総数 161 人 376,320 円（要約筆記依頼件数：庁外58件）

(4) 移動支援事業 事業費 19,476,434 円

	身体障がい者分	知的障がい者分	精神障がい者分	児童分	計
実利用者	21 人	53 人	3 人	19 人	96 人
派遣時間	1662.5 時間	4589.5 時間	107.0 時間	1867.5 時間	8226.5 時間

(5) 障害者地域活動支援センター事業

設置数 3 か所 事業費 7,458,192 円

(うち若竹苑分担金2,008,277円を含む。)

(6) 日中一時支援事業

実利用者数 42 人 利用時間数 1,787 時間 事業費 2,092,998 円

(うち若竹苑分担金525,704円を含む。)

(7) 障害者入浴サービス事業

実利用者数 5 人 利用回数 76 回 事業費 293,000 円

(8) 生活サポート事業

実利用者数 4 人 利用時間数 60 時間 事業費 199,043 円

(9) 手話教室の開催〔手話奉仕員養成事業〕

入門課程 参加者数 29 人

基礎課程 参加者数 23 人

(10) 要約筆記教室の開催〔要約筆記者養成事業〕

基礎課程 参加者数 11 人

応用課程 参加者数 8 人

(11) 身体障害者自動車改造・自動車運転免許取得教習費助成事業

身体障害者自動車改造助成 2 件 104,125 円

身体障害者自動車運転免許取得教習費助成 なし

3 心身障害者共同作業所入所訓練事業

心身障がい者を通所させて、生活指導と社会参加を促進することにより、自立更生と福祉の向上を図った。

共同作業所 友愛之郷、輪の花、新明塾工房ソラ山科教室

利用者数 13 人

委託料 11,065,358 円

4 精神障害者共同作業所入所訓練事業補助

精神障害者共同作業所が実施する機能回復指導、生活適応訓練等の事業に要する経費を補助することにより、精神障がい者の社会復帰の促進を図った。

共同作業所	ゆうとぴあ・むこう、共同作業所やよい工房
利用者数	17人
補助額	12,721,150円

5 福祉タクシー事業

外出困難な重度の障がい児者に対し、福祉タクシー券（年間12,000円）を交付、タクシー料金及びガソリン代の一部を助成することにより、生活行動範囲の拡大及び社会参加の促進を図った。

交付件数	829件	利用実績額	9,256,000円
------	------	-------	------------

6 障害者住宅改修助成

障がい者が住居内での移動等を円滑にするための段差解消や手すりの取付けなどの改修工事を行った場合に助成金を交付した。

交付件数	4件	利用実績額	364,523円
------	----	-------	----------

7 身体障害者等に対する診断書料補助金交付

身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳、特別障害者手当、障害基礎年金、特別児童扶養手当等の交付申請書に添付する診断書料のうち2,000円を限度として補助金を交付した。

交付件数	342件	交付額	712,400円
------	------	-----	----------

8 心身障害者扶養共済制度掛金補助

心身に障がいがあるため独立自活することが困難な障がい児者を扶養している保護者が一定の掛金を拠出し、万一のこと（死亡・重度障がい）があった場合、残された障がい児者に対して終身年金を給付する府の制度で、市は加入した保護者に掛金の3分の1を補助し、加入台帳処理、受付書類進達等を行った。

補助金交付件数	42件	補助金額	768,120円
---------	-----	------	----------

9 特別障害者手当等の支給

精神又は身体の重度の障がい二つ以上重複する等により、常時特別の介護を必要とする20歳以上の在宅重度障がい者に「特別障害者手当」を、精神又は身体に重度の障がいがあるため、常時特別の介護を必要とする20歳未満の在宅重度障がい児者に「障害児福祉手当」を、特別障害者手当及び障害基礎年金制度創設時に廃止された福祉手当を受給していた者で、特別障害者手当又は障害基礎年金に該当しなかった者には「福祉手当（経過措置分）」を支給した。

	月 額	延べ給付人数	給 付 額
特別障害者手当	26,440 円	698 人	18,455,120 円
障害児福祉手当	14,380 円	370 人	5,320,600 円
福祉手当（経過措置分）	14,380 円	13 人	186,940 円
合 計		1,081 人	23,962,660 円

10 身体障害者巡回更生相談

身体障がい者に対し、巡回して医学的判定及び更生に必要な相談に応じ、これを基に適切な指導、助言、援護を行うため乙訓地域を対象に京都府家庭支援総合センターが実施したものである。

実 施 日	場 所	件 数
平成22年5月11日	長岡京市産業文化会館	9 件
平成22年7月13日	大山崎町保健福祉センター	5 件
平成23年1月14日	向日市民会館	6 件

11 精神障がい者相談支援事業（「心の健康相談」）

市役所内に専門の相談窓口を開設し、精神保健福祉士による「心の健康相談」を実施した。

（毎週火曜日、午後）

相談件数 56 件

12 グループワーク『にじ』

仲間同士の交流や社会参加へのきっかけづくりの場として、作業療法士等の指導によるグループワークを開催した。

参加延べ人数 72 人 開催回数 22 回

13 障がい者団体等に対する補助

向日市身体障害者協会	450,000 円	京都府視覚障害者協会向日支部	36,000 円
向日市ろうあ協会	54,000 円	向日市障がい者の日実行委員会	394,200 円
向日市難聴者協会	36,000 円		

14 障がい児学童保育助成

障がい児の長期休暇中及び土曜日の活動の場の確保と保護者の就労支援を目的に自主運営を行う向日市障害児学童を育てる会「がんばクラブ」に対し、指導員の給与助成を行った。

助 成 額 1,000,000 円

15 向日市障がい者の日実行委員会

向日市障がい者の日実行委員会が向日市障がい者の日（11月1日）を中心として行う事業に、福祉関係団体等とともに参画し、次の事業を実施した。

(1) 事業第1部会：障がい児野外研修会

日 時 平成22年7月10日（土） 午前10時30分から午後5時まで
 場 所 アグリパーク竜王
 内 容 農業体験等
 参加者 12人

(2) 事業第2部会：向日市障がい者の日スポーツのつどい

日 時 平成22年10月24日（日） 午前10時から午後1時30分まで
 場 所 向日市立第3向陽小学校グラウンド
 参加者 約300人

(3) 啓発部会：向日市障がい者の日みんなのつどい

日 時 平成22年11月21日（日） 午後2時30分から午後4時30分まで
 場 所 向日市民会館ホール
 内 容 ・講演会「誰もが尊厳をもって暮らせる社会」 講師 堀田 力さん
 ・受付にて、各団体紹介や啓発資料の配布
 参加者 約200人

16 重度障がい児（者）在宅生活支援事業補助

医療的ケアが必要な在宅の重度心身障がい児（者）が安定して日中活動サービス等を利用できるようにサービス提供体制を充実する生活介護事業所等に対し、補助を行った。

補 助 額 1,005,046 円 （乙訓福祉会、向陵会、あらぐさ福祉会）

3 民生費 1 社会福祉費 5 国民年金費

① 国民年金事務費（市民課）

1 適用関係

(1) 資格種別被保険者加入状況 (単位：人)

総 数	強 制		任 意	
	第 1 号	第 3 号	若 齢	高 齢
12,672	7,550	4,935	20	167

(2) 資格種別被保険者加入状況 (単位：人)

平成21年度末 被保険者数 (第3号除く。)	平 成 22 年 度 中 の 異 動				平成22年度末 被保険者数 (第3号除く。)
	資 格 取 得 届	転 入 届	転 出 届	資 格 喪 失 届	
8,127	1,785	345	416	2,104	7,737

2 保険料関係

(1) 保険料免除関係

(単位：人、%)

免除者数	内 訳						免 除 率
	法定免除	申請免除 (全額)	申請免除 (半額)	申請免除 (3/4)	申請免除 (1/4)	学特 猶予	
2,591	409	991	57	115	9	1,010	34.3

(2) 付加保険料加入状況

(単位：人、%)

被保険者数	付 加 加 入 者 内 訳		合 計	加 入 率
	強 制	任 意		
374	0	374	374	7.3

3 年金相談

市民相談室で社会保険労務士による年金相談の実施

実施日時	毎週木曜日	午前10時～午後4時
来訪者	102人	
相談件数	149件	

3 民生費 1 社会福祉費 6 福祉会館費

① 福祉会館管理費（地域福祉課）

福祉会館管理運営業務

平成18年度から指定管理者制度を導入し、福祉会館の管理運営を社会福祉法人向日市社会福祉協議会に委託した。

委 託 料 20,114,000円

3 民生費 1 社会福祉費 7 難病対策福祉費

① 難病患者等生活支援事業費（障がい高齢福祉課）

日常生活用具の給付

給付件数 2 件 公費支出額 45,540 円

3 民生費 2 児童福祉費 1 児童福祉総務費

② 児童委員活動費（子育て支援課）

1 児童委員連絡協議会活動補助金

向日市民生児童委員連絡協議会が行う地域福祉活動事業等に対し、補助金を交付した。

主任児童委員 6 人 児童委員 74人 活動費 2,269,800円

③ 児童福祉対策費（子育て支援課）

1 向日市児童福祉手当（10月と5月の年2回支払い、児童1人につき月額1,000円）

母子	164世帯	児童数	273人	支給額	2,930,000円
父子	6	児童数	6	支給額	22,000
障がい	2	児童数	3	支給額	36,000
合計	172	児童数	282	支給額	2,988,000

2 向日市交通遺児奨学金

対象	支給額（年額）	件数	年間支給額
幼児	9,000円	0件	0円
小学生	18,000	2	36,000
中学生	36,000	1	36,000
高校生	54,000	1	54,000
合計		4	126,000

3 特別児童扶養手当（国の制度・支給額、1級月額50,750円、2級月額33,800円）

3月末受給資格者数 79人

④ 母子福祉対策費（子育て支援課）

1 向日市三つ和母子会運営補助金

母子会の母子福祉活動事業に要する経費の一部を補助することにより、母子福祉の向上、増進を図る。（会員数37人）

事業補助金 110,000円

2 母子生活支援施設入所措置（補助金 国1/2・府1/4）

措置件数 1件 措置費支払額 2,062,668円

3 助産施設入所措置費（補助率 国1/2・府1/4）

措置件数 5件 措置費支払額 2,488,755円

4 母子家庭奨学金

（府の制度・支給額、年額 乳幼児11,000円、小学生21,500円、中学生43,000円、高校生64,000円、高等学校入学支度金35,000円）

受給者数 316世帯 児童数 481人

5 自立支援教育訓練給付金（補助率 国3/4）

受給者数 0人 支給額 0円

6 高等技能訓練促進給付金（補助率 国3/4）

受給者数 5人 支給額 6,063,000円

7 高等技能訓練修了支援給付金（補助率 国3/4）

受給者数 2人 支給額 100,000円

⑤ 無認可保育所助成費（子育て支援課）

1 無認可保育所施設に対する補助金

（補助月額 2～4人 57,000円、5～9人 62,000円、10人以上 67,000円）

支給対象施設数 0 施設 支給額 0 円

2 無認可保育所等に入所中の児童に対する補助金

（補助額 月額10,000円）

支給延べ人員数（児童数） 165 人 支給額 1,608,500 円

3 無認可保育施設安全対策補助金（健康診断補助）

支給対象施設数 0 施設 支給額 0 円

⑥ 京都子育て支援医療費（医療保険課）

（府補助制度）

就学前の乳幼児及び児童を対象に（平成19年9月診療分からは小学6年までの児童も対象）、その医療費に係る自己負担分のうち入院については1か月200円、入院外については3歳の誕生月の末日までは1か月200円、3歳の誕生月の翌月から就学前までは3,000円（平成19年8月診療分までは8,000円）を控除した額を助成し、小学6年生までの児童の健康の保持・増進を図った。

受給者数（1か月当たり平均）	延べ受診件数	医療費支給総額
5,043 人	21,654 件	54,423,431 円

（市独自制度）

就学前の乳幼児を対象に、その医療費に係る自己負担分のうち通院について3歳の誕生月の翌月から4歳の誕生月の末日まで1か月200円を控除した額を助成し、乳幼児の健康の保持・増進を図った。

受給者数（1か月当たり平均）	延べ受診件数	医療費支給総額
535 人	6,438 件	10,476,767 円

⑦ 病児・病後児保育事業費（子育て支援課）

病気や病気回復期の生後2か月から就学するまでの児童で、保育所等に通園し、かつ、保護者の勤務の都合等で家庭での保育が困難な児童を対象に、（医）横林医院・病後児保育所カウベルキッズに委託し、病児及び病後児保育事業を実施した。

開所日数	279 日
利用人数	363 人

3 民生費 2 児童福祉費 2 児童措置費

① 児童手当費（子育て支援課）

児童手当（国の制度・手当額 第1子、第2子5,000円、第3子以降10,000円 H22. 2月～3月分）

※第1子、第2子3歳未満10,000円

小学校修了前の児童を養育している方で、収入が一定額未満の場合に支給する。

	受給者数	対象延児童数	支給額
被用者児童手当	993人	延べ 2,130人	21,300,000円
非被用者児童手当	253	延べ 558	5,580,000
特例給付	43	延べ 90	900,000
被用者小学校修了前特例給付	2,119	延べ 6,752	36,380,000
非被用者小学校修了前特例給付	622	延べ 1,982	11,040,000
合計	4,030	延べ 11,512	75,200,000

② 子ども手当費（子育て支援課）

子ども手当（国の制度・手当額 13,000円 平成22年4月～平成23年1月分）

中学校修了前の児童を養育している方に支給する。（所得制限なし）

	受給者数	対象延児童数	支給額	
0歳から3歳未満	被用者	1,034人	延べ 11,748人	152,724,000円
	非被用者	223	延べ 2,720	35,360,000
3歳以上小学校修了前	被用者	2,714	延べ 38,352	498,576,000
	非被用者	711	延べ 9,818	127,634,000
小学校修了後中学校修了前	被用者	1,038	延べ 11,272	146,536,000
	非被用者	312	延べ 3,362	43,706,000
合計	6,032	延べ 77,272	1,004,536,000	

③ 児童扶養手当給付費（子育て支援課）

児童扶養手当

（国の制度・児童1人の場合の支給額、全部支給月額41,720円、一部支給月額9,850～41,710円、2

子加算5,000円、3子以降加算3,000円）

受給者数（年度末）		
支給対象者	全部支給	225
	一部支給	178
	全部停止	55
	合計	458人

区分		支出額
全部支給		110,891,760
一部支給		65,754,130
加算額	2子加算	10,805,000
	3子以降加算	1,479,000
合計		188,929,890円

3 民生費 2 児童福祉費 3 家庭児童相談費

① 家庭児童相談費（子育て支援課）

家庭相談室

家庭における適正な児童教育、人間関係の健全化、適正な就学進路指導等家庭での児童福祉の向上を図るための相談に応じ、指導を行った。

相談員 3人

相談の種類別件数及び結果別件数

(単位：件)

相 談		種 別	延べ件数	実件数
相 談 項 目	養護相談	児 童 虐 待 相 談	49	37
		そ の 他 の 相 談	128	55
	保健相談	保 健 相 談	2	2
	障がい相談	肢 体 不 自 由 相 談	0	0
		視 聴 覚 障 が い 相 談	0	0
		言 語 発 達 相 談	0	0
		重 症 心 身 障 が い 相 談	8	2
		知 的 障 が い 相 談	0	0
		自 閉 症 等 相 談	1	1
	非行相談	ぐ 犯 行 為 等 相 談	2	2
		触 法 行 為 等 相 談	0	0
	育 成 相 談	性 格 行 動 相 談	2	2
		不 登 校 相 談	12	7
		適 正 相 談	0	0
		育 児 ・ し つ け 相 談	7	6
その他の相談	そ の 他 の 相 談	54	39	
総 計			265	153

処 理 項 目	面 接 指 導	助 言 指 導	32
		継 続 指 導	7
		他機関あつせん	0
	そ の 他		114
	総 計		153

※ 匿名相談16件を含む。

虐待通告件数

(単位：件、人)

	件数	児童数
虐 待 通 告	22	36

3 民生費 2 児童福祉費 4 保育所管理費

② 保育所管理運営費（子育て支援課）

1 保育所の管理・運営

入所児童の保育については、保育目標及び指導計画に基づき、各保育所においてそれぞれの年齢に応じて、創意工夫を凝らした年間カリキュラム、月案・週案を作成し実施した。

(1) 定員及び年間延べ入所児童数（国年齢）

（単位：人）

区分 保育所	開所年度	定員	3歳未満児	3歳以上児	延べ人員 合計
			延べ人員	延べ人員	
第1保育所	平成16年度	230	937	1,822	2,759
第2保育所	昭和43年度	120	704	859	1,563
第3保育所	昭和45年度	120	619	883	1,502
第5保育所	昭和47年度	120	659	1,015	1,674
第6保育所	昭和49年度	150	692	1,123	1,815
合計		740	3,611	5,702	9,313

(2) 健康管理

- ア 健康診断（内科） 4月・10月の年2回実施
- イ 歯科健診 6月・12月の年2回実施
- ウ 眼科健診 6月に実施
- エ 検尿 6月・11月に実施
- オ ぎょう虫検査 6月・11月に実施
- カ 歯磨き教室 4・5歳児を対象に実施（6月）
- キ 視力検査 3歳児以上について実施（9月）
- ク 身体計測 毎月実施
- ケ 手洗い教室 3・4・5歳児を対象に実施（12月）

(3) 一時保育事業

パートタイムなど保護者の就労形態の多様化に伴う一時的な保育や、保護者の疾病等による緊急時の保育に対応するため、第1保育所で一時預かり事業を実施した。

延べ利用人数 3,017人

(4) 延長保育事業

保護者の就労形態等に対応し、保育時間を午後7時まで延長することによる就労支援を行った。

2 保育所運営経費（公立保育所）

（単位：円、人）

区 分	年 度	平成22年度	参 考	
			平成21年度	平成20年度
	保 育 所 数 ・ 定 員	5 か所・740人	5 か所・740人	5 か所・740人
A	運 営 経 費 総 額	1,039,452,020	1,001,586,590	1,010,931,063
B	国 ・ 府 補 助 金 ・ 雑 入 等	33,721,722	22,851,160	21,302,320
C	市 の 保 育 料	196,543,100	209,984,950	200,267,650
D	延 べ 入 所 児 童 数	9,313	9,690	9,512
入所児 一人 当たり 年 額	運 営 経 費 A/D*12	1,339,356	1,240,355	1,275,355
	市 保 育 料 C/D*12	253,250	260,043	252,651

③ 子育て支援事業費（子育て支援課）

1 子育てセンター事業

子育て家庭や地域の保育ニーズに応じ、保健センター、保育所など各機関と連携を図り、子育てセンター「すこやか」を拠点に子育て支援センター「ひまわり」「秋桜（こすもす）」「さくら」などで総合的な支援事業を実施した。

(1) 相談事業

子育て家庭に対する育児不安及び子育ての悩みについての相談及び指導を実施した。

相 談 内 容	件 数	相 談 内 容	件 数
食 事 問 題	57 件	授 乳 問 題	13 件
排 泄 問 題	24	障がい児傾向を持つ子どもの問題	139
睡 眠 問 題	21	育 児 不 安	39
身 体 ・ 健 康 問 題	94	就 園 問 題	41
情 緒 問 題	60	そ の 他	78
社 会 性 の 問 題	74		
こ と ば の 問 題	28	合 計	668

相 談 方 法	件 数
電 話	52 件
来 所	616 件
合 計	668 件

(2) すこやか講座

子育てに関する情報を提供し、育児力を高めるとともに、親がリフレッシュできるよう講座を実施した。

実 施 回 数	11 回
参 加 人 数	170 人
保 育 児 数	180 人

(3) 育児サークル支援

親と子が一緒に集って子育てを楽しみ、情報交換する場としての育児サークルを支援した。

活 動 回 数	68 回
グ ル ー プ 数	8 件

※「すこやか」「さくら」「公民館」等で実施

(4) 親子のふれあい事業

親子が気軽に集い、遊び、ふれあう場を企画し実施した。

ア 遊びの日

子どもを年齢別に分けて親子で遊ぶ場を提供した。

(単位：回、人)

	びよびよ ルーム	よちよち ルーム	とことこ ルーム	わくわく キッズ	ひまわり ホットルーム	合計
年 齢	0～1歳	1歳～1歳半	1歳半～2歳	2歳以上	0歳～1歳半	
実 施 場 所	さくら	さくら	すこやか	向日消防署	ひまわり	
実 施 回 数	17	21	12	3	23	76
参加人数（親）	422	217	160	81	118	998
参加人数（子）	423	222	171	90	141	1,047
参加人数（合計）	845	439	331	171	259	2,045

イ さくら施設開放

2歳以上と2歳未満に分けて親子が自由にふれあい、遊ぶ場を提供した。

(単位：人)

	親	子	合 計
2歳未満参加人数	1,586	1,666	3,252
2歳以上参加人数	1,624	1,941	3,565
びよんちゃんくらぶ 参 加 人 数	116	132	248
合 計	3,326	3,739	7,065

ウ 「すこやか」来所

「すこやか」で、気軽に利用できるよう来所相談の場を提供した。

(単位：人)

	親	子	合 計
来 所 人 数	52	43	95

エ 園庭開放

親子が保育所の園庭で自由に遊べる場として実施した。

(単位：回、人)

	第2保育所	第3保育所	第5保育所	第6保育所	合 計
実 施 回 数	7	8	10	6	31
参加人数（親）	108	88	301	110	607
参加人数（子）	120	105	320	133	678
参加人数（合計）	228	193	621	243	1,285

オ 絵本の日

親子が絵本と出会い、読み聞かせる場として実施した。(単位：回、人)

	こすもす	ひまわり	合 計
実 施 回 数	11	11	22
参加人数（親）	70	45	115
参加人数（子）	72	65	137
参加人数（合計）	142	110	252

カ 地域交流

公民館・コミュニティセンターにおいて、親子が地域でのつながりを深めるために実施した。

(単位：回、人)

	物集女公民館	物集女コミセン	上植野公民館	上植野コミセン	合 計
実 施 回 数	10	10	21	23	64
参加人数（親）	74	62	333	248	717
参加人数（子）	80	69	402	279	830
参加人数（合計）	154	131	735	527	1,547

キ その他の事業

四季にちなんだ行事に親しみ、また、親子がふれあい楽しめるよう、さまざまな催しを実施した。

(単位：人)

行 事	期 間	内 容	親	子	合計
児童福祉週間	5月7日	「親子であそぼう！3B体操」	37	39	76
親子で楽しむ クリスマス	12月15日 (2回)	「ママが歌うライブステージ♪」 ①松井恵子&カンペラーズ すこやかパネルシアター ②HANA☆JOSS 「インドネシアの影絵とガムラン演奏」 サークル「和ールド」とともに	110	116	226
獅子舞	1月5日、6日 、7日、12日	園庭開放（第2保・第3保・第5保・ 第6保）	121	139	260
※みんなで 子育て MUKO	3月16日 (2回)	「春が来た！歌と笑いのお楽しみ袋」	90	105	195

※向日市社会福祉協議会との共催事業として実施

(5) 支援事業

心身に障がいがある子どもと家族や国際結婚されている親、高齢初産の親のサークルを対象に支援活動を実施した。

(単位：件)

	個別支援	グループ支援	合 計
利 用 人 数	27	30	57

(6) 連携・協力事業

母子保健事業の1歳児教室、2歳児教室及びたんぼぼくらぶに協力して実施し、遊びと保育を担当した。

内 容		回 数	来所児数	保護者数	合 計
たんぽぽくらぶ	前 期	6 回	84 人	84 人	168 人
	後 期	6	116	116	232
1 歳児教室		6	65	65	130
1 歳 9 か月児経過教室		9	79	79	158

2 ファミリーサポートセンター事業

地域において育児の援助を行いたい者と育児の援助を受けたい者を会員として組織化し、育児に関する援助活動を行うことにより、仕事と育児を両立し、安心して子育てができるような環境づくりを目的に、子育てサポーター養成講座の開催、相互援助活動の調整等を実施した。また、援助会員は、子育てセンター事業に協力し、地域の子育てを見守るボランティアとして活動した。

(1) 子育てサポーター養成講座の開催

ア 開 催 件 数	1 回
イ 開催日程（1回・3日間）	6月18日・25日・7月6日・9日
ウ 延 べ 参 加 者 数	94人
エ 援助会員登録者数	20人

(2) 登録会員数 ※3月31日現在

依 頼 会 員	援 助 会 員	両 方 会 員	合 計
351 人	124 人	16 人	491 人

(3) 活動状況

内 容	回 数
保育所・幼稚園の送り	15 回
保育所・幼稚園の迎え	48
保育所・幼稚園の登園前の預かり及び送り	9
保育所・幼稚園の迎え及び帰宅後の預かり	28
保育所・幼稚園の帰宅後の預かり	3
留守家庭児童会の放課後の預かり	3
留守家庭児童会の迎え	0
留守家庭児童会の迎え及び帰宅後の預かり	3
留守家庭児童会の帰宅後の預かり	7
子供の病後時の援助	0
保育所・学校等休み時の援助	5
保育所等施設入所前の援助	0
保護者等の短時間・臨時的就労の場合の援助	278
保護者等の求職活動中の援助	1
保護者等の冠婚葬祭による外出、他の子供の学校行事の場合の援助	11
保護者等の買物等外出の場合の援助	97
保護者等の病気、急用等の場合の援助	3
その他	12
合 計	523

(4) 会員交流会

援助会員と依頼会員の相互交流を図るため、交流会を行った。

	開催場所	回数	参加者数
交流会	ファミリーサポートセンター、寺戸公民館	6回	195人
フォローアップ交流講座	向日消防署	1	16
合計		7	211

(5) 事前打合せ

援助会員と依頼会員との事前打合せを行った。

ア 回数 23回

イ 出席者数 69人

(6) 他機関との協力事業

援助会員の協力を得て子育て事業を実施した。

	実施回数	保育児数	援助会員数
すこやか講座	15回	144人	96人
子育て支援講座	3	43	19
向日市まつり	3		45
合計	21	187	160

(7) 事業紹介及び依頼会員の募集

アドバイザーが各事業に出向き、ファミリーサポートセンター事業の紹介と依頼会員の募集を行った。

事業名	実施回数
地域交流	63回
びよびよルーム	17
説明週間	0
乳児前期健診	22
ファミサポ事業説明会	1
合計	103

3 児童虐待防止ネットワーク事業

児童虐待の防止と早期発見を目指し、ネットワーク協議会開催をはじめ、情報交換等を各関係機関と行い、連携を密にした。

(1) 「向日市要保護児童対策地域ネットワーク協議会」

	開催日	検討ケース	
		世帯件数	児童数
代 表 者 会 議	7月9日		
実 務 者 会 議	4月28日	33 件	60 人
	6月23日	38 件	70 人
	8月25日	39 件	73 人
	10月27日	43 件	81 人
	12月22日	46 件	87 人
	2月23日	47 件	89 人
個 別 ケー ス 検 討 会 議	4月30日	1 件	1 人
	7月15日	1 件	1 人
	7月30日	1 件	1 人
	8月18日	1 件	1 人
	9月3日	1 件	2 人
	10月4日	1 件	1 人
	10月25日	1 件	1 人
	10月29日	1 件	1 人
	12月7日	1 件	1 人
	12月9日	1 件	2 人
	12月17日	1 件	1 人
	1月13日	1 件	2 人
	2月18日	1 件	1 人
	2月25日	1 件	1 人
	3月23日	1 件	1 人
予 防 ケー ス 検 討 会 議	5月26日	23 件	36 人
	7月16日	23 件	36 人
	9月28日	24 件	38 人
	11月16日	26 件	40 人
	1月18日	30 件	46 人
	2月21日	31 件	47 人

(2) 虐待予防、虐待対応に関する研修会の開催

日 時：平成22年7月9日（金）午後1時30分～3時

場 所：向日市役所 大会議室

参加者：要保護児童対策地域ネットワーク協議会代表者 19人

講 師：立命館大学社会学部 野田正人教授

テーマ：要保護児童対策協議会の活用と市の責務

日 時：平成23年2月21日（月）午後1時30分～3時

場 所：向日市保健センター

参加者：関係機関、市職員 31人

講 師：臨床心理士 馬見塚 珠生氏

テーマ：精神疾患を抱え子育てをしている親支援のあり方

3 民生費 2 児童福祉費 5 委託児童運営費

① 民間保育所運営補助事業費（子育て支援課）

1 定員及び年間延べ入所児童数（国年齢） （単位：人）

区分 保育所	開所年度	定員	3歳未満児	3歳以上児	延べ人員 合計
			延べ人員	延べ人員	
あひるが丘保育園	昭和42年度	120	629	1,016	1,645
さくらキッズ保育園	平成18年度	20	240	0	240
アスク向日保育園	平成19年度	110	737	885	1,622
合計		250	1,606	1,901	3,507

2 民間保育所運営経費 （単位：円、人）

区分	年 度	平成22年度	参 考	
			平成21年度	平成20年度
保育所数・定員		3か所・250人	3か所・250人	3か所・230人
A 運営費総額		318,995,880	327,928,390	325,322,600
委託料		261,141,880	264,002,390	268,954,600
負担金補助及び交付金		57,854,000	63,926,000	56,368,000
B 国の徴収金（国保育料）		101,371,940	102,184,030	97,539,970
C 国庫負担額 1/2		80,059,245	80,601,975	84,315,940
D 府費負担額 1/4		40,029,622	40,300,987	42,157,970
E 国・府補助金等		19,726,022	13,303,540	13,902,100
F 市の保育料		76,878,150	75,949,400	70,444,440
G 保育料軽減額 B-F		24,493,790	26,234,630	27,095,530
H 延べ入所児童数		3,507	3,509	3,176
入当 所た 児り 一年 人額	運営経費 A/H*12	1,091,517	1,121,442	1,229,179
	市保育料 F/H*12	263,056	259,730	266,163

3 民生費 3 生活保護費 1 生活保護総務費

② 法施行事務費（地域福祉課）

生活保護事務の施行に伴う調査（1,798件）、訪問（1,050回）、レセプト点検（7,640件）及び面接相談（延べ478人）を行った。

3 民生費 3 生活保護費 2 扶助費

① 生活保護費（地域福祉課）

1 被保護世帯数、人員及び扶助額

世帯数	人員	保護率	扶助費 (医療扶助を除く。)	医療扶助費	扶助費合計
335	519人	9.6%	434,573,663円	315,859,797円	750,433,460円

※ %とは、1,000に対する比率

2 扶助費（医療扶助を除く。）の内訳

(単位：円)

生活扶助	住宅扶助	教育扶助	介護扶助	出産扶助	生業扶助	葬祭扶助	施設事務費	合計
274,551,536	132,312,181	7,102,637	14,191,238	0	4,305,821	1,107,800	1,002,450	434,573,663

3 開始事由の内訳（70件）

手持現金の減少	傷病・障がい	転入	その他
26件 (37.2%)	22件 (31.4%)	11件 (15.7%)	11件 (15.7%)

※ 福祉行政報告例による。

4 廃止事由の内訳（37件）

転出	死亡・失そう	給与等の収入増	その他
12件 (32.4%)	13件 (35.2%)	7件 (18.9%)	5件 (13.5%)

※ 福祉行政報告例による。

3 民生費 4 災害救助費 1 災害救助費

① 災害救助費（地域福祉課）

1 向日市災害見舞金等給付規則に基づき、災害見舞金を支給した。

件数 1件

災害発生日	災害の種類・程度・件数	給付額
平成22年8月12日	床上浸水1件	20,000円

2 東日本大震災に係る義援金の受付

3月12日（土）から向日市内施設20か所にて、東日本大震災災害義援金の受付を開始した。

受付金額 6,386,658円（平成23年3月31日現在）